

## 第4章 重点施策

川崎市が「スポーツのまち」として今後さらに発展していくためには、スポーツを楽しむ市民が一人でも多くいることが不可欠です。

そのため、本市では「子ども」に着目し、スポーツ好きの子どもを育てていくことを本計画の重点施策として取り組み、将来、スポーツ好きの市民であふれ元気で活力のあるまちを目指します。

### 重点施策

#### スポーツを楽しむ子どもを地域みんなで育てよう

町内会・こども会など地域社会が行うスポーツを通じた子どもの育成を支援するとともに、学校スポーツ(体育や運動部活動など)、市内スポーツ団体(市内の種目別競技団体や総合型地域スポーツクラブなど)、トップスポーツ(ホームタウンスポーツ推進パートナーなど)が連携し、スポーツの魅力・楽しさを子どもに伝え、スポーツ好きにさせるためのアプローチを地域ぐるみで展開します。

川崎でともに暮らす幅広い世代がスポーツを通じて子どもに関わり、スポーツで子どもを育てることで、子どもたちが成長し大人になってからも「する・観る・支える」など多様な形でスポーツに関わり、「スポーツのまち」を支える人材を育てていきます。

#### ●全国でも有数の若いまち・子どもが多い都市

川崎市は、全国的に人口減少社会に突入する中で、人口増加を続けている珍しい都市です。また、人口当たりの出生率(人口当たりで生まれる子どもの数)や婚姻率が20年近く大都市中1~2位で推移し、小学校の新設や校舎の増築がなされるなど、「子どもが多いまち」という特徴があります。

こうした「若い世代と子どもが多い」という特徴をスポーツにおいても活かし、まちの活力づくりにつなげていくことができます。

#### ●スポーツで子どもは成長する

成長過程にある子どもたちにとって、スポーツは「健康な身体をつくる」、「豊かな心を育む」など様々な効果があります。

スポーツを通じて、「それまでできなかったことが徐々にできるようになり」「過去の自分や目標に挑み、それを乗り越える」ことで、子どもたちは成長し、「自分に自信を持ち、他人の思いを共有することができる」ようになります。

子どもの頃に経験した活動、そこで得た思いや学んだことはその子の人生にとっても大きな影響を与えます。

幼児期に体を動かすことの楽しさ、お父さんやお母さん、友達と一緒にスポーツをすることの楽しさ、更には、仲間とともに目標を目指してがんばり、その目標を達成できたときの嬉しさ、挑戦することの楽しさを知った子どもは、スポーツにより成長し、生涯にわたってスポーツに関わ

り、地域や職場で仲間とコミュニケーションをとり交流を深め、豊かな人生を形成するようになると思います。

このような子どもたちを増やしていくためには、体育や運動部活動など学校におけるスポーツを充実させていくとともに、学校以外の場においても子どもたちがスポーツにふれ、その魅力を楽しむ機会を増やしていく必要があります。

#### ●総合型地域スポーツクラブと学校の連携

市内各区には総合型地域スポーツクラブが設立されていますが、学校を拠点に活動しているクラブが多く、その中には学校体育施設を十分に活用し、効果的にクラブの事業を展開しているクラブがあります。

例えば、高津区で活動しているNPO法人高津総合型スポーツクラブSELFでは、学校施設開放運営委員会と連携し、既存の利用団体と綿密な調整をしながらクラブの活動機会を確保し、子どもをはじめ2,000名を超える幅広い世代の会員が多様な種目のスポーツを行っています。さらに、文部科学省の事業を活用し、小学校でチームティーチングを行う「体育活動コーディネーター」の派遣やトップアスリート等による巡回指導などを行い、総合型クラブと学校との連携による子どものスポーツの充実、体育の授業の充実にも力を注いでいます。

#### ●地域活動に対する意識が高いトップアスリートの活用

川崎市では、数多くの実業団チームやアスリートが活動しており、平成24年9月時点で6チーム1選手が「川崎市ホームタウンスポーツ推進パートナー」として認定されています。

これらのトップアスリートは本市にとって貴重なスポーツ資源であり、年間を通じて市内で様々な試合が開催され、子どもたちがスポーツへの憧れを抱いたり、スポーツの生み出す大きな感動・興奮を感じたりする重要な機会となっています。

さらに、プロスポーツチームとしては他に類を見ないほど地域密着型の活動をしている川崎フロンターレに代表されるように、どのチーム・アスリートも地域貢献意識が非常に高く、選手やコーチが学校の授業に出向き、直接子どもたちとふれあいスポーツの楽しさ・醍醐味を伝える活動などを行っています。

また、川崎市では国際大会や全国大会など大規模なスポーツイベントの誘致にも取り組んでいますが、大会を開催する際にも子どもを対象としたサブイベントやプレ・アフターイベントを充実させ、大規模大会の開催の取組を子どもたちに広げ、「する」スポーツに繋げています。



●学校・地域スポーツ・トップスポーツが連携し、子どもへ多層的にアプローチしよう

子どものスポーツを体育や運動部活動など学校に任せっきりにするのではなく、地域のスポーツ団体やアスリートなどと協力し、学校と地域スポーツ、学校とトップスポーツ、地域スポーツとトップスポーツが連携し、お互いが持つ目的、技術をお互いに活用することで、スポーツの持つ力をより広く効果的に発揮し、子どもたちがスポーツを好きになり、楽しみながらスポーツに取り組むようになるよう多層的にアプローチしていきます。

●重点施策に係る主な取組(再掲)

◆地域社会、総合型クラブ、スポーツセンターなどでの取組

主な取組	概要
スポーツセンター等での子ども向け教室 ・幼児向けスポーツ教室 ・親子スポーツ教室 ・キッズスポーツ教室 ・ジュニアスポーツ教室	子どもの成長過程に合わせ、スポーツの楽しさを味わうことのできるスポーツ教室を開催します。 ●集団遊びやボール遊びなど、体を元気いっぱい動かして遊ぶ幼児向け教室 ●親子体操やグループゲームなど、親子のスキンシップを促進できる教室 ●球技やダンス、器械体操など、スポーツの楽しさを体感し、体の基礎づくりにつながるような教室
総合型クラブにおける子ども向けスポーツ事業	総合型地域スポーツクラブなどで子ども向けのスポーツ事業を展開し、学校以外の場所においてもスポーツに触れる機会を拡充します。運動が苦手な子どもや非競技志向の子どもがスポーツの楽しさを味わうことができるようにします。
地区単位のスポーツ大会	綱引き大会やリレーカーニバル、親子運動会など、市内各地区で特色となるスポーツ大会を開催し、親世代や高齢者など、地域でともに暮らす幅広い世代とともに子どもたちがスポーツを楽しむことができる機会を提供します。
多摩川ランフェスタ ・川崎国際多摩川マラソン ・多摩川リバーサイド駅伝	市民スポーツの一大イベントである多摩川を活用したランニングフェスティバルにおいて、子どもや親子の参加機会を提供します。 ●川崎国際多摩川マラソンにおいて、ショートの部や親子ペアランニングなどを設け、子どもや親子連れなどが自分のスキル・体力に合わせて走り、スポーツを通じた仲間とのふれあい、親子で走る楽しさを味わう機会を提供します。 ●走る爽快感、タスキをつなぐ楽しさなど駅伝の醍醐味を子どもたちに感じてもらえるよう、多摩川リバーサイド駅伝にキッズ・ファミリーの部を設け、スポーツを通じた親子のふれあい、友達や仲間と走る楽しさを味わえる大会を開催します。

◆学校における取組

主な取組	概要
学校体育・運動部活動の充実に向けた外部指導者の活用	学校体育や運動部活動を充実させるため総合型地域スポーツクラブなど地域の人材やトップアスリート等と連携し、指導補助者や専門指導のできる外部指導者を派遣します。
小学校地区別運動会	近隣小学校の小学6年生が一斉参加する地区別運動会を市内各地で開催します。 近隣校の友達と運動を通して交流し、お互いを認め合ったり励まし合ったり、友達と協力する楽しさを味わうとともに、子どもたちが運動の楽しさや喜びを感じ、生涯にわたって積極的にスポーツに親しむきっかけとします。
小学校陸上記録会	川崎市中学校総合体育大会の陸上競技大会において、小学生の陸上記録会を開催し、第1種公認陸上競技場である等々力陸上競技場を小学生が走る機会を提供します。
小学校キラキラタイム	「キラキラタイム」として、休み時間や放課後に教職員・児童が一斉に外に出て遊ぶ機会を設けるなど、子どもたちが自ら進んで遊びやスポーツに親しむ機会を拡充し、体力の向上につなげます。

◆トップスポーツからのアプローチ

主な取組	概要
川崎フロンターレが行う地域密着活動の支援	川崎フロンターレが市内で行っているスポーツ活動やスポーツ以外の分野での地域活動を支援し、「地域連帯の向上」、「生涯スポーツの推進」、「青少年の健全育成」、「都市イメージの向上」等の取り組みを推進します。
ふれあいスポーツ教室	子どもたちにスポーツの楽しさや素晴らしさを感じてもらうため、ホームタウンスポーツ推進パートナーなど市内のプロチーム・実業団チームが小学校に出向き、子どもたちと選手が直接ふれあう取り組みを進めます。
ホームタウンスポーツ推進パートナーホームゲーム招待	サッカー、アメリカンフットボール、バレーボールやバスケットボールなど、国内トップレベルで活躍する市内のプロチーム、実業団チームの試合に子どもたちなど市民を招待し、スポーツ観戦の臨場感や高揚感を味わう機会を提供します。
大規模大会サブイベント、プレ・アフターイベント	大規模スポーツ大会を開催する際に、トップアスリートやコーチによる子ども向けの指導教室や関連イベントを開催します。大会開催の成果を子どもたちに還元し、スポーツへの興味関心を呼び起こし「観る」スポーツから「する」スポーツに繋がります。
トップアスリート等による講演会・特別授業	子どもたちがスポーツ選手への憧れを抱き、スポーツに興味を持つきっかけとなるよう、講演会や学校訪問・特別授業などの開催を検討します。